2011(平成23)年度 塾長賞・塾長奨励賞

学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものである 塾長賞・塾長奨励賞は、 学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において

塾長賞・塾長奨励賞について 2011 (平成3) 年度は、塾長奨励賞に2件2名が選ばれ、 塾長賞審查委員会委員長 3月の卒業式において表彰された。 学生総合センター長・文学部教授

伊東裕司

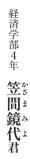


塾の存在自体の光輝となる」塾生 (大学生・ 動などにおいて学生の範となる活躍をし、 励賞です。学術・芸術・社会活動・文化活 しています。このような活動を顕彰するた 活動において際立った成果を上げる活躍を してきており、 という教育理念に基づき、課外活動を推奨 の幅広い活動を通して幅広い人間を育てる 体育活動、 慎重な選考の結果、 活動を対象とするものが、 れた成果を上げた課外活動を表彰しています。 大学院生)を表彰するものです。 (平成23) 年度は、 「当人の栄誉であるばかりでなく、 それらの賞の中で、体育活動以外の課外 慶應義塾では、 慶應義塾ではいくつかの賞を設け、優 芸術・文化活動、 毎年多くの塾生諸君が課外 正課の学業のみではなく、 2件2名の塾生が塾長 10件の推薦が得られ、 塾長賞・塾長奨 社会活動など 2 0 1 慶應義

健闘に期待したいと思います。 というにとは残念ですが、今後の塾生諸君のつたことは残念ですが、今後の塾生諸君のつたことは残念ですが、今後の塾生諸君ののない。という結果になったことは残念ですが、今後の塾生諸君の

私は、塾長賞・塾長奨励賞の選考に長くとの塾生諸君がさまざまな領域で素晴らしい活躍をされているではなく、それ以外の活動にも力を入れ、優れなく、それ以外の活動にも力を入れ、優れなく、それ以外の活動にも力を入れ、優れなら、これがらの人生をより豊かなた成果を上げることは、人間としての幅をた成果を上げることは、人間としての幅をた成果を上げることは、人間としての幅をくの塾生諸君がさまざまな領域で活躍をさくの塾生諸君がさまざまな領域で活躍をされることを期待いたします。

日本漢字能力検定1級に、 31 回連続で合格





多く難易度も高い検定試験(1級)といえる。 2回までの31回連続合格した。漢字能力検定は歴史ある検定試験であり、 に寄与できる能力を有しており、慶應義塾の誇りとするところである。 の学生の漢字離れといった背景の中、 でなく、 日本漢字能力検定1級に、2001(平成13)年度第2回~2011 31回連続合格したことは、安定した能力であることの証明とも判断できる。近年 同君は漢字に精通しており、 その検定に13歳という年齢で合格しただけ 日本の漢字文化の伝承 (平成23) 年度第 また受検者数も

第35回全国学生書写書道展 席書の部 大学生の部」 学年優勝杯受賞

看護医療学部2年 小林優一君



おり、 学生の部」において学年優勝杯(日本一)を受賞した。 いて優勝をしたことは高く評価でき、 の大会での受賞である。 般社団法人 全国書写書道教育振興会主催の 結果、 応募総数9721点 さまざまな団体が存在する分野ではあるものの、 (うち、 慶應義塾の誇りとするところである。 同君が該当する部門・学年は50点)という規模 「第35回全国学生書写書道展 同君は幼少より書道をたしなんで 大学生の部にお 席書の部 大

※学年はいずれも受賞時